京都精神保健福祉士協会

きょうと通信　NO.６２



２００８年４月発行

事務局：財団法人　長岡記念財団内
〒610-0843　京都府長岡京市友岡４丁目 18 の１
TEL　075-951-9201（代）
FAX　075-954-1210（代）
e-mail　office@kyo-psw.org
HP　http://www.kyo-psw.org/

【総会のご案内】

日　　時　　2008 年 5 月 25 日（日）　10：30～16：00
受　　付　10：00
総　　会　10：30～12：30
（（社）日本精神保健福祉士協会京都府支部総会　12：30～13：30
（持参した昼食をとりながら））
記念講演会　14：00～16：00
会　　場　　京都商工会議所　2 階教室
京都市中京区烏丸通夷川上る西側　　TEL 075-212-6400
（最寄り駅　　地下鉄烏丸線　丸太町駅⑥番出口すぐ）

記念講演会は、社団法人日本精神保健福祉士協会京都府支部との共催で開催します。

記念講演
テ ー マ　　反貧困 － 「すべり台社会」からの脱出
講　　師　　湯浅　誠 氏
（NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい事務局長
／反貧困ネットワーク事務局長 ）

立て続けに社会保障制度の改悪が進む中、国民の生活はさまざまな点で脅かされ続けています。私たち精神保健福祉士が支援を続けている精神に「障害」のある人たちも例外ではなく、一日一日どう暮らしていくかを支えていくことへの複雑な思いを日々感じざるを得ない毎日です。講師の「人とのつながりを大切にし、誰もが排除されることなく、安心して暮らせる社会をつくっていく」という活動は私たちにとっても共通の課題です。今回はその理念や活動についてお聴きし、私たちもともに学び、考える機会にしたいと思います。

講師略歴：1969 年生まれ。東京大学大学院博士課程単位取得退学。90 年代より野宿者（ホームレス）支援活動を展開。「ネットカフェ難民」の存在にいち早く気づき、日本の貧困問題に警鐘を鳴らしてきた。NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい事務

局長。著書に『本当に困った人のための生活保護申請マニュアル』『貧困襲来』など。4月 22 日に本講演と同テーマの岩波新書・『反貧困―「すべり台社会」からの脱出』が発売。

【6 月例会のご案内】

日　時：2008 年 6 月 7 日（土）14：00～17：00
会　場：未定（決まりましたら、メール、FAX でお知らせします）
テーマ：先輩の実践（活動）から学ぶ
講　師：橋本 美恵子さん　（医療法人稲門会 岩倉病院）

橋本美恵子さんは、京都の精神保健福祉分野におけるソーシャルワーク実践（活動）の草創期から岩倉病院でこの仕事に取り組んでこられました。また、京都市内で初めて地域の関係機関とともに運営委員会方式で共同作業所を立ち上げられるなど、常に精神に障害のある方が地域で安心して生活することができることを目指して実践をしてこられました。これらの実践（活動）を紹介していただきながら、どのような思いで取り組んでこられたのか、ワーカーとして大切にしてきたことはどんなことだったのか等をお話していただきます。お話を聞きながら、参加するみなさんがご自分の実践やそれに対する思いを振り返り、時代や状況、そして働く場所が違っても大切にしなければならないことを改めて確認していただく機会にしていただければと思っています。

【3 月例会報告】　3 月例会は滋賀県精神保健福祉士会との共催で実施しました。

日　時：2008 年 3 月 1 日（土）　14：00～17：00
会　場：ウィングス京都 セミナー室 B
テーマ：「これでいいのか金銭・貴重品管理！？」
　　～もう一度考えようあるべき姿、アンケートから見えてきたもの～
アンケート報告：斉藤　徹さん
シンポジスト：
　保田　美幸さん（医療法人稲門会 岩倉病院）
　村上　多恵さん（財団法人長岡記念財団 精神障害者生活訓練施設アスロード）
　柴田　ひとみ氏（医療法人周行会 地域生活支援センター 風・滋賀）

参加者：27 名　（滋賀より 8 名）

昨年度京都協会の権利擁護委員会が実施した「日常的な金銭・財産管理に関するアンケート調査」の報告の後、シンポジウム形式で、各領域から、金銭・財産管理についての実践や課題をお話していただきました。

今回のシンポジウムでは、このような管理を PSW が行うことの是非ではなく、どのような関わりが PSW に求められているのか、当事者の暮らしを支えることができるのかを改めて考える機会になることを意図して企画されました。

シンポジウムの中では、それぞれの職域での実践を話していただきましたが、それぞれの現場での課題に違いがある一方で、三者に共通していたのは「本人の意志に反する支援であり、これでいいのか？と不安になることもある」といった声であり、しかし、それでも本人にとって欠かせないものであろうと悩みながら支援を続けている様子がうかがえました。また「『失敗をする権利』を守ること、その失敗に寄り添うことも大切なのではないか？」という言葉も聞かれ、このような金銭・貴重品管理を行うべき・行うべきでないと簡単には割り切れないものなのだと改めて感じさせられました。

またシンポジストからもフロアの参加者に対し「どのように取り組んでいるのか聞きたい」といった言葉も聞かれ、皆がこの問題に対して悩みながら、でも向き合わずには済まない問題であることが感じられました。

既存の制度の活用に関しては、「成年後見制度に関しても万能ではなく、使うことの落とし穴があり、その後見人らに福祉的な視点を持ってもらえるような働きかけなども必要である」ことなども提起されていました。

しかし、同じ制度ではありますが、地域福祉権利擁護事業（現・日常生活自立支援事業）の運用について、滋賀県は、人口 10 万人あたりの利用者数は 49.7 人で、これは島根県に次いで 2 位の利用率であり（全国平均は 14.5 人、京都 13.5 人）、滋賀では入院中の利用も待機もなく活用できているという報告があることや、市町の担当者との連携のあり方にも違いがあることなどが報告されました。

今後、隣県の実態などの情報交換なども行い、よりよい関わりができる土壌作りを進めることの必要性と可能性を感じさせられました。

また、今回の例会は滋賀県精神保健福祉士協会との共催の形をとったのですが、今後も京都・滋賀の、また近畿ブロックでの連携を広げ、何らかの形で連携を続け、相互に情報交換を続け、刺激を受けながら活動していければと思いました。

（報告：権利擁護委員会　西川）

【3 月例会感想文】

立命館大学 大学院生（社会学研究科　人間福祉領域）　　藤原　真由美さん

アンケート調査結果や各施設種別での現状と課題についてのお話から、施設機関や利用者の状況によって関わり方も様々であること、困難事例や葛藤もあること、そして京都と滋賀のそれぞれの様子も知ることができ、参考になりました。

利用者の日常的な金銭貴重品管理に関しての社会資源の活用については、10 月例会での成年後見制度や地域福祉権利擁護事業についての講演も思い出しながら聞きましたが、様々な事情で活用しにくい現状もあることを知り、何とかならないのだろうかと思いました。

利用者の金銭貴重品管理に関して、精神保健福祉士が業務として実際にどのように関わっているのか・支援現場での現状や課題について、PSW をめざす学生でありながらも、恥ずかしながら今まで私はほとんど知りませんでした。しかし、今回の例会での学習をきっかけに、利用者の日常的な金銭貴重品管理について、精神保健福祉士としてどう認識し業務としてどう関わるのか、社会資源の活用や機関内外での連携をどう改善していくのか、あらためて考えていく必要があるのではないかと感じました。

里地クリニック　デイケアだんだん　　東　景一朗さん

今回、三名の方の取り組みを聞き、金銭・貴重品管理の難しさとそのためのシステム作りの大切さを改めて感じました。金銭・貴重品管理に関しては、利用者の地域生活と

は切り離せないものであり、大切なことだと思います。しかし、その中で、どこまで利用者の意思・思いを汲めるかは私たちの取り組みだと思います。また、成年後見制度や地域権利擁護事業などのサービスの利用をすすめることも有効だと思います。
　また、利用者の金銭・貴重品を管理する側のシステム作りも、大切だと思いました。私の施設では管理のための十分なシステムが整っておらず、課題や改善点が多くあります。今回の発表を参考に、私の施設でも取り組んでいきたいと思いました。

【リレー職場紹介】

ウエノ診療所　　中原　美加さん

　ウエノ診療所は、平成 4 年 8 月に医師・看護師・事務職員・PSW の 4 名で開院しました。翌年の 9 月にデイケアを開設し、アルバイトスタッフも増えていきました。
　私はデイケア開設の半年後から、週 1 回の学生アルバイトとしてデイケアに関わるようになりました。メンバーさんに教えてもらってヨガをしたり、一緒にカラオケを歌ったり、おしゃべりをしたり。まだ規模も小さく、メンバーさんに引っ張られながら方向を模索していた時期だったように思います。
　今では大規模デイケアの認可を受け、メンバーさんもスタッフの人数も増えましたが、開設当初から現在まで、『地域のなかの居間』であることを目指して、メンバーさん達が地域のなかで暮らしていくために、仲間と出会い、憩い、心をほっとやすめる場でありたいと願ってきました。PSW も、外来担当・デイケア担当と分けるのではなくて、曜日担当を決めて全員がデイケアに関わり、一緒に悩み、話し合って運営しています。PSW としては、外出や外来の方の相談を受けることが出来ない曜日があると言う悩みもありますが、デイケアはウエノの中核であり、その場に全ワーカーが関わるということを大切に考えています。デイケアに入る以外には、外来の方やデイケアメンバーさんの様々な相談、買い物、銀行、不動産屋、他科受診、入退院等の同行、お薬の管理、様々な事務仕事と書ききれない程ですが、関わるうえで大切に思っていることは、『半歩うしろから付いて行く』という姿勢です。地域のなかで、病気や障害を抱えながらその人らしく生きていくことは、まだまだ大変なことだと思います。少し振り返るといつでもそこに居る存在であれたらいいな、と思っています。

【2007 年度第 6 回　京都精神保健福祉士協会役員会報告】
日時：2008 年 3 月 22 日(土)　13:30～18:50
場所：高木神経科医院　会議室
出席：亀海・熊取谷・斉藤・佐藤・月川・中瀬・西村・姫野・前田・物
　　事務局委員（賀来・山本）　　欠席：菅生
議長：物　　書記：賀来・山本　　報告書作成：物

議案
Ⅰ．報告
１．対外関係
　「京都市精神保健福祉審議会」出席報告（中瀬）
　　開催日：2008 年 3 月 19 日　　場所：本能寺会館
２．事務局（物）

・　事務局委員の交代について、瀧井さんに代わり山本留未さん（長岡病院デイケア）が担当となり、賀来さん、山本さん 2 名の体制となることが報告された。
・ 事務局使用のパソコンの不具合について、2 月 18 日に長岡記念財団に対応いただき解決をみた。が、25 日に必要なソフトのインストール作業を行うなか、新パソコンの機能の限界からメール配信等の事務局作業に負担がかかっていること、ホームページの作成ソフトも起動しづらい状態にあることがわかり報告された。機能的に情報発信できるパソコン環境について、通信情報部の担当者で検討することとした。
・ プロバイダーとの契約時の誤りがわかり、不要な通信費用 2,000 円を毎月払っていることが判明、今後誤りが起こらないようシステム整備を検討することとなった。
・　ウェブメールの送信容量の契約が 5MG と小さく作業に負担が生じており、契約を変更することとした。→　1MG 程度の添付ファイル、同送メール 100 通程度になると迷惑メールとみなされ、送信にブロックがかかるためと判明した。
・　退会審査
規約第 7 条（1）自らからの申し出による退会者 2 名、（2）1 年以上連絡の取れないものによる退会者 1 名の 3 名の退会を承認した。
3 月 22 日現在　会員数 284 名

1．　研修研究部

□　例会

○3 月例会報告（斉藤）：滋賀県精神保健福祉士会との共催で実施、27 名の参加者のうち滋賀からの参加は 8 名だった。開催にかかる費用の負担について事前のすり合わせが必要だったといった報告がされた。

○6 月例会進捗状況（前田）：テーマは、今年度と同様に先輩から学ぶような内容にする予定で進めている。

□　初任者研修（熊取谷）
来年度開催について打ち合わせ 2 回終了、担当委員を 5 名増員し 15 名体制となった。合宿形式の必須研修と、1 日研修の 2 回を予定しているといった報告がされた。

□　専門委員会・学習会

○権利擁護委員会（斉藤）：3 月 24 日、委員会を実施予定。アンケートの集計分析の報告を次年度には冊子にしたい。

○倫理について考える委員会（西村）：引き続き、冊子作成作業中である。

○障害者自立支援法委員会（西村）：とくに報告はなしとのこと。

○心神喪失者等医療観察法学習会（物）：3 月 6 日に集まりをもち、今年度の振り返り次年度について検討した。次年度は毎月第 3 木曜日に学習会を定例化することとなった。メンバー1 名が加わった。

□　通信情報部

○通信（月川）：委員の補充についてはまだ対応できていないとのこと。

○ホームページ：3 月 29 日に集まりをもつ予定だったが出席予定者の都合が悪くなり、再調整中。
検索エンジン（Yahoo・Google）にのるようになった。

□　組織運営部：とくになし

□　倫理委員会（物）
下記内容で倫理委員会を実施した。

日　時　　2008 年 3 月 12 日（水）　18:30～20:30
場　所　　髙木神経科医院　会議室（3 階 302 号）
議　案　　規約等の改正について／倫理について考える委員会作成の冊子発行について／会員に対する苦情への対応について

出席者　　倫理委員：委員長　中島俊則弁護士、中川るみ社会福祉士、
橋本史人さん、村社孝子さん、吉村安隆さん
会長　中瀬慶子、副会長　佐藤純、副会長　西村睦美、
事務局長　物尚子

資　料　　「規約改正案」「役員選出規則」改正案および「懲戒処分規程案」について、規約（改正案）、懲戒処分規程（案）、懲戒処分規程フローチャート（案）、役員選出規則（改正案）、日本精神保健福祉士協会「苦情処理規程」、「実践につなげるソーシャルワーカーの倫理～事例をとおして～」

□　会計（月川）

今年度の収支についておおよその報告がされた。活動がひろがり出費がかさんだ。会費の値上げを検討する時期に来ているのではないか。現状では活動を維持することが困難になることも考えられるとの議論がされた。

Ⅱ．検討事項

1．　第 8 回総会および記念講演会について（佐藤・物）

講師：　依頼を終え、返信待ちであること。日程、会場については返信を待たず確定することが確認された。関心の高いテーマであることから、幅広く声かけし非会員の参加をつのることとした。

タイムスケジュールの確認：　支部総会の開催について再検討した。予定通り昼食時間帯に実施、後半は受付がスタートすることもあるので、会場前方でもつこととした。

準備：　講師との連絡、案内文作成を佐藤さんが担当することが確認された。

懇親会：　担当は組織運営部、参加しやすいように総会案内文とともに案内することとする。

2．規約等改正について（佐藤）

倫理委員会では、現行案について問題になる点はない、規約や懲戒処分等は、会の成り立ち、目的などによるものである。どういう会でありたいのか協会が考えていくことだろうとの助言があったと報告された。助言を受けて三役で検討し、懲戒処分にかからない条項については改正を、懲戒処分にかかるものについては、さらに 1 年をかけて組織体制の整備も含めて検討していくことが提案され、承認された。

3．『実践につなげるソーシャルワーカーの倫理～事例を通して～』の発行について（西村）　第 3 章について、見直した点、倫理委員会への相談結果について報告、内容について問題になる点はないが、理解を得て発行することを目標にさらに取り組んでいくこととなった。

4．労働環境調査について（物）

予備調査について、時期の変更や協力について確認された。

5．役員補充について

菅生さんから役員辞任の届けがあり承認された。それにともない手続きを経て補充されることが確認された。

6．入会案内・申込書について（物）

増刷するにあたり、内容の確認を行った。

Ⅲ．2007 年度事業報告

各部、委員会、学習会から 2007 年度の事業報告がなされた。

Ⅳ．2008 年度事業計画および組織体制

・2008 年度事業について、課題への取り組み、組織体制などについて議論された。

・予算について、決算後、会費値上げが必要か検討し、次回役員会に会計から提案することとなった。

次回役員会は 4 月 19 日（土）　13:30 から

【掲示板】

＊　平成２０年度精神保健福祉士海外研修・調査への参加募集についてご案内

詳細は⇒http://www.japsw.or.jp/backnumber/oshirase/2007/0321.htm

【事務局からのお知らせ】

変更届・退会願のご提出のお願い

お届けいただいている内容に変更が生じた場合には、変更内容について事務局までご連絡いただくようお願いいたします。

退会をご希望の方は、総会開催日までに退会願を事務局までお送りください。総会を終えての退会は、2008 年度会費をお納めいただくことになりますので、ご注意ください。

変更届、退会願の用紙は会員名簿に添付されています。

どうぞよろしくお願いいたします。

2008 年度の会費は総会後に納入をお願いします

新しい年度になりましたので、今年度会費の納入をお願いいたします。

ただし、５月に開催されます総会に、会費の値上げについてご提案をさせていただいています。つきましては、会費の納入は、総会にて今年度会費が決定された後にお願いいたします。

例年、議案書送付時に払込用紙を同封していますが、今年度は同封しておりませんのでご了承ください。会費の納入は、総会終了後の会場、例会会場などにお持ちいただくか、郵便局備え付けの払込用紙でお願いいたします。

なお、「2007 年度未納会費」、「通信郵送負担料」については、総会までにお納めいただけます。また、2008 年度分会費をすでにお支払い済みの方には、会費の値上げが総会で可決された場合、差額をお納めいただくことになります。ご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

「きょうと通信」郵送利用負担料お支払いのお願い

「きょうと通信」を郵送でご覧の皆さまは、新しい年度になりましたので会費納入時に 500 円の負担料のお支払いもあわせてお願いいたします。

また、メール配信に変更される場合は、総会までに必ず事務局までメールでご連絡ください。よろしくお願いいたします。

会員の動向

〔所属変更〕

西川　健一さん　　特定非営利法人　あさがお　（旧所属　琵琶湖病院）
　　所在地　大津市浜大津 3-2-4
　　TEL　　077-522-0799　　FAX　　077-522-0845
田中　大二郎さん　社会福祉法人　京都障害児福祉協会
　　洛西地域生活支援センターウエストサイド
　　（旧所属　洛西ふれあいの里療護園）
　　所在地　京都市西京区樫原平田町 1-154
　　TEL　　075-382-3300　　FAX　　075-382-3302
平山　司さん　　第二北山病院　　（旧所属　北山病院）
青戸　亨子さん　通所授産施設カメリア　　（旧所属　長岡病院医療福祉相談室）
上田　康代さん　地域活動支援センターアンサンブル
　　（旧所属　通所授産施設カメリア）
西　まろかさん　　長岡病院　デイケアセンター（旧所属　通所授産施設カメリア）
村上　多恵さん　　長岡病院　医療福祉相談室　（旧所属　生活訓練施設アスロード）
渡邊　房代さん　　長岡病院　医療福祉相談室　（旧所属　同デイケアセンター）

〔退会〕

鈴木　紀子さん
藤本　綾子さん
渡辺　三加子さん
山本　智陽さん　（ねっこの郷）
中川　由紀子さん
北見　直也さん　（東山老年サナトリウム）

〔入会〕

三宅　恵那さん　（舞鶴医療センター）
渡邊　始さん
畚野　真木さん　（安東医院）

会員数　2008 年 4 月 23 日現在　284 名

【編集後記】

毎年春を迎え、色鮮やかな花々を目にするたび、季節の移り変わりの早さを感じずにはいられません。
初心を忘れず、楽しく元気にこの一年もやっていきたいものです。（小野）